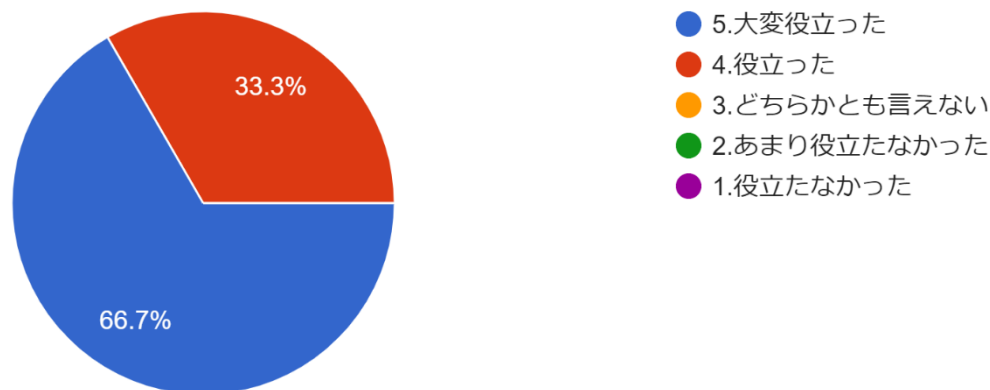


### ▼第3日(1/14)の講座は役に立ちましたか？



### ▼第3日(1/14)の評価理由

- ◆江戸や明治の古い事象が述べられていて、興味深かったのですが、レジュメに添えられている資料番号を当たっても、藤本蚕業資料サイトからは検索できませんでした。
- ◆古文を読める方が近くにいらっしやると大変心強いな、私たちの地域に協力を望める識者はいらっしやるのかな…と思いました。どう協力を仰ぐか、連携をとるかから考えたいと思います。視点が偏らない大切さも感じました。
- ◆桂木さんの「1980年代から一次資料をないがしろにする風潮があった」「政治的プロパガンダに惑わされない史実の重み」、小平さんの「愛国心に陥ってはならない」「全体の中に位置づける客観的な視点が必要」というお話にとっても感銘を受けました。
- ◆日本で敗戦が決まって真っ先にやったことは軍の内部文書の焼却だったという話はデジタルアーカイブを学び始めた最初に聞いて強く印象に残っていましたが、桜を見る会や最近の少年事件資料の廃棄の件など見ても、記録を残すことに対する日本社会の意識の低さを感じずにはいられず（特にスポーツ・デジタルアーカイブの分野でひしひし感じます）、デジタルアーキビストとしてどうあるべきか考えさせられました。
- ◆まず膨大な史料を整理されたことに敬意を表したい。また、それらの中から、近現代史の問題をすくいあげてまとめられていることに感心した。
- ◆オンデマンドで聴いているので、特になし。
- ◆篠原様のおっしゃった「探究のたね」は、藤本蚕業歴史館 DA と受講生の中に播かれていることが分かりました。皆さんのご発表を拝聴して創作意欲がわきました。
- ◆他の発表者さんたちの内容が非常に面白く刺激になりました。自分の発表は画面共有がうまくいかず、申し訳ありませんでした。
- ◆キュレーション（のようなもの？）を初めて発表したり、その際に初めて画面共有を行うなど、実体験することができたのは大きかったと思います。

◆皆さまのキュレーションを拝見できて大変勉強になりました。自身の発表では、いつも以上に緊張してしまいましたが、プレゼンテーションする良い経験になりました。

◆拙い中間報告に様々なコメントを頂けた。

◆発表内容は、それぞれ興味深いものでした。タイポグラフィーの発表は、こういうアプローチの仕方もあるのか、と新鮮でした。光が丘の取り組みは意義あるものと思いました。私自身の場合もキュレーションとは言えなかったのですが、キーションということではもう少し発表事例が欲しかったと思いました。